

協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.116



5月

発行／公益社団法人国際観光施設協会
総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋
2-8-5 多幸ビル九段2階
TEL03-3263-4844
FAX03-3263-4845

E-mail: kankou01@syd.odn.ne.jp
URL: <http://www.kankou-fa.jp>

2018年5月8日

新生ホテル&リゾート分科会

会長 鈴木 裕

訪日外国人観光客数も2800万を超えオリンピック時に4000万人を目指し観光先進国へと邁進している勢いがあります。そうした国際化した観光環境の中で、もはや旅館とホテルを区別することは現実的でないとの議論があり、旅館観光地分科会とホテル都市分科会を発展的に合併して世界的に通用する呼称である「ホテル&リゾート」分科会とすることとしました。取り扱うテーマはホテル系3つとリゾート系2つの新旧合わせて5つあり、現状では分科会員が40名を超す大所帯ですのでテーマごとにサブリーダーを設定して分割して活動を行うよう運営上の工夫をする予定です。

【ホテル系】

テーマ1 新ユニバーサルホテル客室研究

(新テーマ)

テーマ2 Ai と観光施設 (新テーマ)

テーマ3 観光メディアラボ連載活動
ホテルの安心・安全読本出版

新テーマ1は現状法で指導されているバリアフリー客室をユニバーサルデザインの視点で見直し、より広範な利用価値を生むものとするための研究です。障がい者用というとらえ方でなく、すべての人の

ためにという観点です。テーマ2は日本の観光施設が持つ課題を抽出しAiによる解決法を研究するという大上段に構えたテーマです。まずは現在進行中のAi活用事例を調査・理解することから始めていきます。

【リゾート系】

テーマ4 宿泊施設の新潮流と将来展望の研究

(新テーマ)

テーマ5 「たびむすび」による観光地活性化活動

新テーマ4は星の数による高級度に従ったホテルの価値のとらえ方が大きく変わってきた現状を調査しさまざまな新しい価値の具体的内容を研究し会員の設計及び製品開発の助けになることを意図しています。

いずれも「国際観光に技術で貢献する協会」にふさわしいテーマでありまた会員によし協会によし観光によしの三方良しのCSV活動であります。協会員の皆さまがこれから成長目覚ましい観光産業に乗り出していききっかけとなる活動とするべく知恵を絞っていきたいと思います。ご興味のある協会員はオブザーバーから参加していただければと思います。

平成30年度の通常総会とセミナー・交歓会のお知らせ

平成30年度の通常総会および当日の関連行事の概要が決まりました。

東京オリンピック・パラリンピックを2年後に控えて、平昌2018パラリンピック冬季競技大会で日本選手団団長を務められた大日方邦子氏をお招きし「Beyond2020ーユニバーサル社会を目指してー(仮題)」についてご講演いただく予定です。

同氏はこれまでチェアスキーの選手として冬季パラリンピックリレハンメル大会から連続5大会に出場し、金・銀・銅通算10個のメダルを獲得されたスーパーアスリートで、現在は電通パブリックリレーションズの社員として、公職活動に従事しつつ、スポーツを取り巻く社会環境の改善に取り組む他「誰もが安心して生きられる社会」を目指し、多様性を許容できる社会の普及に資する活動にも取り組んでおられます。ご期待ください。

ー通常総会および交歓会は次の通りー

日時 平成30年6月13日(水) 14時～19時

場所 ホテルグランドパレス

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-1-1

スケジュール(予定)

- ・通常総会 (3階松の間) 14時～15時20分
- ・セミナー (3階松の間) 16時～17時30分
- ・情報交歓会 (3階白樺の間) 17時30分～19時

新情報発信グループ研究会

「ラグジュアリーホテルのアート計画」

新情報発信グループでは、本年3月に株式会社アートフロントギャラリーの藤本俊行様を講師にお招きし、近年、ラグジュアリーホテルチェーンがホテルブランドの差別化の1つとして、アート計画に重きを置いてきている流れを豊富な実例をもとに解説いただきました。

ホテルオペレーターが掲げるホテルブランドのデザインコードに沿って、世界的に著名なホテルインテリアデザイナーとオーナー、さらにアート計画の専門家が、日本、アジア各地のホテルを取り巻く壮大な歴史・風土・カルチャーなどのエレメントを抽象性の高い現代アートでまとめ上げていく過程は、純粋アートの制作さながら。日本人アーティストも多数、アジア、国内のラグジュアリーホテルで活躍し、ゲストをやさしくサプライズさせています。

東京ガス関内ビル 見学会 報告

設備部会は最新の環境に配慮した中規模オフィスビルの見学会として、(株)山下設計様が設計された東京ガス関内ビルにおいて3月16日に会員18名が参加して開催しました。このビルは老朽化した旧関内ビルを建て替え、2017年7月に竣工した中規模オフィスビルで、このビルは、クリエイティブオフィスの実現、建築と設備が融合した合理的でロスの少ない中規模ビルに求められる空調システムの構築、BCP対応と環境への配慮をコンセプトとして設計されています。

世界初のカス・電気ハイブリッドパッケージエアコンが採用され電力のピークカットに寄与し、BCP対応では電源自立型パッケージエアコンの採用により災害時も電源が確保されるフロアがありました。また、天井輻射空調の採用により執務空間はドラフトを感じにくい清流とし快適性を高めるなど、省エネ性、快適性を災害時対策と共に目指したビルとして参考になる見学会でした。

また、最上階には社員やOBの方のためのレストランがあり、当日の懇親会にも利用させていただきましたが、横浜らしいおしゃれな食事を堪能した楽しい交流会となりました。当企画にご協力戴いた東京ガス様および山下設計様に厚く御礼申し上げます。

ハイアットセントリック 銀座 東京 見学会報告

銀座の並木通りにオープンしたハイアットの都市型ブランド、セントリックにてセミナー見学会を行いました。参加者は65名でした。

かつての朝日新聞社跡で、明治時代には夏目漱石もこの場所で筆を振っていたようです。銀座はこの10年余り高密度な建替が進んでいます。当地も始めは店舗とオフィスの複合ビルとして計画が進められましたが、観光需要を受け途中でホテルに変更されたようです。

1,2階は旧ビルと同様にブランド店が入居し、3階には並木通りに面したテラスをもつレストランと

バー、その上の4階ロビーとは巧妙に配置された階段と吹抜けで繋がっています。共用部のインテリアはメディア産業をテーマにした素材を活用し、客室は宿泊に特化したホテルらしくコンパクトで機能的です。密度の高いコンセプトとデザインが良く実現されていると感じました。最上階のスイートを見ることが出来たのは幸運でした。

☆ 新入会員紹介 ☆ (入会順)

[建設業] 西松建設株式会社

(代表者)代表取締役社長 (担当者)建築事業本部
近藤晴貞 建築営業部 部長 高野宏則
〒105-6310 東京都港区虎ノ門1-23-1
虎ノ門ヒルズ森タワー10階
TEL 03-3502-7561 FAX 03-3502-7576
営業内容:建設事業、開発事業、不動産事業

[メーカー] 松下産業株式会社

(代表者)代表取締役社長 (担当者)東京支店
百田貴宏 相良徹也
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-2-12
TEL 03-3363-6031 FAX 03-3361-9330
営業内容:建築用石材の加工及び販売 建築材料、庭園材料の加工及び販売 建築工事業

[メーカー] ルノン株式会社

(代表者)代表取締役社長 (担当者)首都圏営業開発部
種戸一嗣 統括マネージャー 山下 昇
〒141-0031 東京都品川区西五反田2-30-4 BR 五反田ビル
TEL 03-3767-3403 FAX 03-3767-3440
営業内容:各種壁紙、壁装材、襖紙の国内卸販売及び輸出入

[メーカー] 株式会社ハーフェレージャパン

(代表者)代表取締役社長 (担当者)マーケティング・コミュニケーション
カール・ハーネ 佐野勝人
〒244-0806 神奈川県横浜市戸塚区上品濃14-17
TEL 045-828-3120 FAX 045-828-3110
営業内容:家具建具金具、キッチンパーツ、電動工具、マーケットアンブレラ等の輸入販売

[個人] 大内政男

〒102-0071 東京都千代田区富士見2

[個人] 高橋尚史

〒185-0023 東京都国分寺市西元町3

[賛助会員] 佐々木博之写真事務所

(代表)佐々木博之
〒243-0406 神奈川県海老名市国分北2-23-36
TEL046-231-0455

♥ 編集後記 ♥

訪日外国人観光客の益々の増加に備え、観光先進国に相応しい環境作りに貢献するための協会の新たな活動体制と研究テーマが発表されました。テーマは5つに分かれておりますので、それぞれの分野でどの様な貢献ができるのか研究し、全員で取り組んでまいりたいと思います。

Y. K